

放

ホウ
はなす・はな
つ・はなれる

〔3年〕

8画 ヲ 方 が 放

はねる

なりたち 四方の意味の方と打ち払う意味の文(ぼくにょう)と(支)との会意形声字。遠くの方へ追い払うことを表した字。追い放つこと。転じて、「解き放す・遠く離れる」こと。また、「捨てておく」こと。



放

いみじゆく

▼放つ。放す。追いやる。
追放：追い放つこと。例 国外追放
放逐：追い払うこと。例 無法者を放逐する。
▼解き放す。自由にすること。例 奴隷解放
放免：罪人などを許して自由にしてやること。例 無罪放免
▼捨てておく。構わないでおく。
放任：放(ほ)つておいて自由にさせること。例 放任主義
放置：物事を放(ほ)つておくこと。例 自転車を放置する。
▼気ままにする。勝手にすること。放縦：勝手気ままにすること。放棄：放言・奔放

よみかた 放棄・放言・奔放

倣

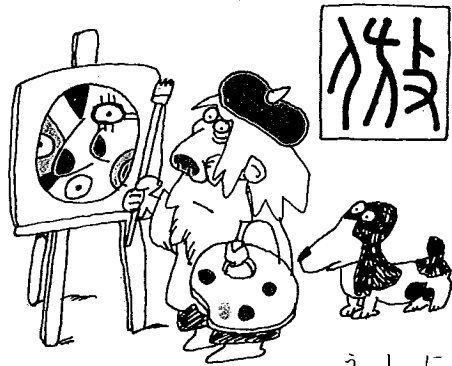
ホウ
ならう

〔10年〕

10画 イ 倣 倣 倣

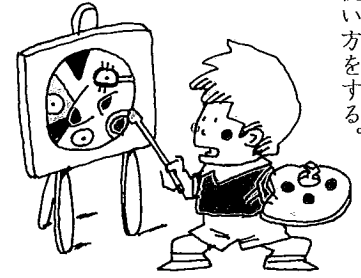
とめる

なりたち 真似(まね)の意味の效(効)のかわりに用いられた放(せ)と人の会意形声字。「人を真似る」ことを表した字。「ならう」こと。



いみじゆく

▼真似(まね)る。倣(まね)う。
模倣：真似(まね)ること。「模」は模型の模で木型のこと。木型を手本にしてそれに似せて物を作るので「似せて作る・真似る」意味に用いる。
さんこう 倣(まね)う || 真似(まね)ること。「前例に倣(まね)う」というように使う。学習の「習」も「習う」と読むが意味が異なる。また、「字を習う」というように「〇〇を習う」と使うのに対して、倣は「〇〇に倣(まね)う」という使い方をします。



耕

コン
たがやす

〔5年〕

10画 一 三 丰 耂 耂 耂 耂

とめる

なりたち 田を耨(すく)耨(す)の形を表した耂と、木との会意字である耂(すきへん)と、井田(下段「井」の項目参照)の意味の井との会意字。井田を耨で「たがやす」ことを表した字。転じて、「農家の仕事」の意味から「仕事」の意味に用いられる。



いみじゆく

▼耕す。
耕地：耕された土地、田や畑のこと。例 耕地面積
耕作：田畑を耕して農作物を作ること。
耕種：田畑を耕して作物の種類を播(ま)くこと。植え付けること。耕植。
耕牛：耕作に使う牛。
農耕：田畑を耕すこと。転じて、広く「農家の仕事」の意味に用いる。例 農耕に従事する。
▼仕事。
筆耕：筆の仕事の意味で、報酬を受けて文章や文字を書き写す仕事をする人。また、その仕事をする人。

よみかた 耕具・晴耕雨読



井

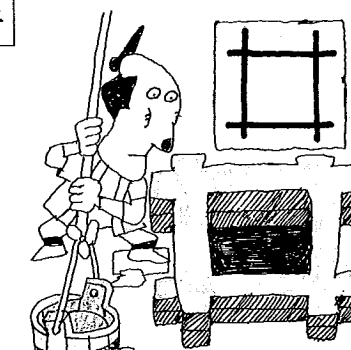
セイ・シヨウ
い

〔4年〕

4画 一 二 井 井

はらう

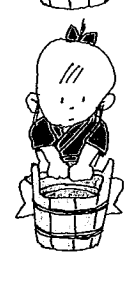
なりたち 井戸の周囲に設けた桁(たて)の形を表し、井戸の意味を表した象形字。「井戸」。また、「井桁(い)」のこと。また、井桁の形をした「天井」。また、井桁の形をした「井田(下段の「井田」参照)」。転じて、「村里」の意味。



いみじゆく

▼井戸。
井戸：地に穴を掘って地下水を汲(く)む所。「戸」は所の意味。
井泉：井戸の水。また、井戸。井田。
▼井田。
井田：中国の昔の制度で、一里四方の田を井の字型に九等分し、中央の田を公田として周囲の八家が共同で耕し、その収穫を税とした。村里。
▼村里。
市井：繁華な町。市場が開かれるような、人の多い町。
▼区画がきちんと整うこと。井然：区画が整っていること。また、行為に規律があること。

よみかた 井筒・天井・油井



耕